

問1 発展途上国の都市部において、急激な人口集中によって生じる居住環境の課題について述べた文として、正しいものはどれですか。 (2025年 山梨県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 都市への人口集中を解消するため、政府が遊牧などの伝統的な移動生活に戻るよう国民に義務付けている。 | 2. 都市化が進む一方で、伝統的な生活様式を維持するために、すべての住民が定住を拒否して移動式テントで生活している。 | 3. 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。 | 4. 急速な工業化によって都市の労働力が不足したため、伝統的な住居を解体して高層住宅に建て替えることが法律で禁じられている。 |
|---|--|--|--|

問2 オーストラリアの国旗にイギリスの国旗である「ユニオンジャック」が含まれている理由として、その歴史的背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 島根県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. イギリスからの経済援助を受けるための条件として、国旗に意匠を残すことが義務付けられているため | 2. かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため | 3. 第二次世界大戦においてイギリスと同盟を結び、その勝利を記念して意匠を統一したため | 4. イギリスを文化的な理想国家として掲げ、19世紀後半に国民投票によってこのデザインが採択されたため |
|---|---|---|---|

問3 イギリスの地理的条件について、緯度や気候の観点から日本と比較して説明した文として、適切なものを選択してください。 (2024年 福井県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|---|
| 1. イギリスは日本よりも低緯度の熱帯付近に位置しているため、偏西風の影響を強く受けるものの、一年を通じて極めて高温多湿である。 | 2. イギリスの緯度は日本の北海道よりも高い位置にあるが、北大西洋海流という暖流と偏西風の影響により、冬でも比較的温暖な気候である。 | 3. イギリスは日本と同様の島国であるが、面積は日本の約20倍と非常に広く、緯度にかかわらず国内で大きな気温差が生じている。 | 4. イギリスの緯度は北海道とほぼ同じであるが、北極圏から流れてくる寒流の影響を直接受けるため、日本よりも冬の寒さが格段に厳しい。 |
|--|--|--|---|

問4 オセアニア州の諸国に見られる歴史的背景と国旗の関係について述べた次の文のうち、正しいものはどれですか。 (2016年 長野県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. オーストラリアの国旗にあるユニオンジャックは、将来的にイギリスを併合するという建国当時の目的を示している。 | 2. オーストラリアやフィジーの国旗にはイギリスの国旗が含まれており、これはかつての植民地支配の歴史を反映している。 | 3. オセアニアの国々の国旗は、イギリスとの独立戦争での勝利を契機として、すべてイギリスとは無関係な独自の意匠に変更された。 | 4. 貿易の拡大に伴い、オセアニアの全ての国々がイギリスの国旗を自国のデザインの一部として採用することが義務付けられた。 |
|--|--|--|--|

問5 オーストラリアの貿易統計において、輸出額が最も多い品目と、輸出相手国として最も高い割合を占める国の組み合わせとして、正しいものはどれですか。なお、この相手国への輸出額は、全体の3割以上を占めています。 (2017年 富山県公立入試 類似)

- | | | | |
|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 輸出額が最も多い品目：鉄鉱石、最大の輸出相手国：中国 | 2. 輸出額が最も多い品目：鉄鉱石、最大の輸出相手国：アメリカ合衆国 | 3. 輸出額が最も多い品目：原油、最大の輸出相手国：中国 | 4. 輸出額が最も多い品目：石炭、最大の輸出相手国：日本 |
|-------------------------------|------------------------------------|------------------------------|------------------------------|

問6 オーストラリアは、かつて白人優先の白豪主義をとっていましたが、1970年代以降にこれを撤廃し、どのような社会を目指す政策へと転換しましたか。 (2026年 宮崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|
| 1. ヨーロッパからの移民のみを無条件で受け入れる単一民族社会 | 2. 近隣の島国からの移民を完全に制限する自国優先社会 | 3. アジア系をはじめとする多様な民族の文化を尊重する多文化社会 | 4. 特定の言語のみを公用語として強制する言語統一社会 |
|---------------------------------|-----------------------------|----------------------------------|-----------------------------|

問7 太平洋を取り囲む日本、中国、オーストラリア、アメリカ合衆国などの国々が参加し、地域の持続的な成長と経済的な結びつきを強めることを目的として、1989年に発足した枠組みを何といいますか。 (2016年 岩手県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------|-------------------------|-----------------|----------------------|
| 1. 東南アジア諸国連合 (ASEAN) | 2. 環太平洋パートナーシップ協定 (TPP) | 3. ヨーロッパ連合 (EU) | 4. アジア太平洋経済協力 (APEC) |
|----------------------|-------------------------|-----------------|----------------------|

問8 オーストラリアの貿易の歴史的变化について、1960年代初頭と2010年代の統計を比較して説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2021年 群馬県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. かつては鉄鉱石や石炭などの天然資源を主にアメリカへ輸出していたが、現在は自動車や電気機器などの工業製品を主にイギリスへ輸出している。 | 2. かつては羊毛や小麦などの農産物を主にイギリスへ輸出していたが、現在は鉄鉱石や石炭などの天然資源を主に中国や日本などのアジア諸国へ輸出している。 | 3. かつては自動車などの工業製品を主にイギリスへ輸出していたが、現在は羊毛や小麦などの農産物を主に中国や日本などのアジア諸国へ輸出している。 | 4. かつては羊毛や小麦などの農産物を主にアジア諸国へ輸出していたが、現在は鉄鉱石や石炭などの天然資源を主にヨーロッパ諸国へ輸出している。 |
|---|--|---|---|

問9 サトウキビやトウモロコシなどの植物を原料として作られ、石油の代替燃料として自動車の燃料などに利用される再生可能エネルギーを何といいますか。 (2015年 長崎県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------|--------|---------|---------|
| 1. バイオ燃料 | 2. 核燃料 | 3. 天然ガス | 4. 化石燃料 |
|----------|--------|---------|---------|

問10 開発途上国の巨大都市などにおいて、職を求めて流入した低所得者層が密集して住み、水道や下水道などの公共サービスが不十分で居住環境が劣悪な地域を何と呼びますか。また、ブラジルにおけるその呼称として正しい組み合わせを選びなさい。 (2021年 佐賀県公立入試 類似)

- | | | | |
|--------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|
| 1. スラム (ブラジルではバンバ) | 2. ニュータウン (ブラジルではセルバ) | 3. ニュータウン (ブラジルではファベラ) | 4. スラム (ブラジルではファベラ) |
|--------------------|-----------------------|------------------------|---------------------|

問11 オーストラリアの貿易構造の変化について、1960年には輸出総額の約26%をイギリスが占めていましたが、2020年の統計では中国が40%に達し、次いで日本や韓国が上位に入るようになりました。このような輸出相手国の変化について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. イギリスの欧州連合 (EU) 離脱により、旧宗主国としての経済的結びつきが1960年当時よりも強まった。 | 2. 南太平洋の島々との貿易を優先するため、アジア諸国への輸出割合を意図的に引き下げた。 | 3. アメリカ合衆国の経済成長に伴い、2020年時点ではアメリカが中国を抜いて最大の輸出相手国となった。 | 4. 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。 |
|---|--|--|--|

問12 日本の鉱工業に欠かせない鉄鉱石の輸入先について述べた文として、正しいものを選びなさい。 (2015年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|---|--|---|--|
| 1. 南アフリカ共和国が輸入額の約6割を占めており、広大な面積を持つオーストラリアからも一定量を輸入している。 | 2. 面積が約769万km ² あるオーストラリアが輸入額の約6割を占めており、アフリカ大陸の南アフリカ共和国からも一定量を輸入している。 | 3. 人口が約2億人のブラジルが輸入額の約6割を占めており、オセアニアのオーストラリアからも一定量を輸入している。 | 4. 面積が約278万km ² あるアルゼンチンが輸入額の約6割を占めており、南アフリカ共和国からも一定量を輸入している。 |
|---|--|---|--|

答え合わせ・解説

問1	答え 3 十分な所得や住居を確保できない人々が、都市周辺にスラムと呼ばれる生活環境の劣悪な地域を形成することがある。	急激な都市化が進む地域では、仕事を求めて都市に集まった人々が適切な住居を得られず、不法に占拠した土地や都市の周辺部に、電気・水道などのインフラが整っていない「スラム」を形成することが大きな社会問題となっています。これは単なる個人の選択ではなく、急激な人口流入という社会現象と、それを受け入れる都市側の準備不足という因果関係によって引き起こされるものです。
問2	答え 2 かつてイギリスの植民地であり、独立後もイギリス連邦の一員として歴史的なつながりを維持しているため	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であり、1901年に独立してからもイギリスを君主とする「イギリス連邦（コモンウェルス）」の一員としての地位を保っています。国旗に描かれたユニオンジャックは、宗主国であったイギリスとの深い結びつきを象徴しており、現在も国家のアイデンティティの一部となっています。このように、かつての宗主国の旗を自国の国旗の一部に取り入れている国は、ニュージーランドやフィジーなどオセアニアの他の国々にも見られます。
問3	答え 2 イギリスの緯度は日本の北海道よりも高い位置にあるが、北大西洋海流という暖流と偏西風の影響により、冬でも比較的温暖な気候である。	イギリス（ロンドンなど）は、日本の最北端である北海道よりも高緯度に位置しています。しかし、周辺の海域を暖流の「北大西洋海流」が流れており、その上の温まった空気が「偏西風」によって運ばれてくるため、高緯度のわりに冬の寒さは厳しくなく、西岸海洋性気候に属する温暖な気候となっています。
問4	答え 2 オーストラリアやフィジーの国旗にはイギリスの国旗が含まれており、これはかつての植民地支配の歴史を反映している。	オーストラリアやフィジーといった国々の国旗には、かつてイギリスの植民地であったことを示すユニオンジャックがデザインされています。これはオセアニア州の歴史を理解する上で重要な特徴です。独立に際してアメリカ合衆国のように戦争を経て完全に決別したケースとは異なり、イギリスから平和的に独立し、現在も象徴的なつながりを保っている国々に見られる共通点です。
問5	答え 1 輸出額が最も多い品目：鉄鉱石、最大の輸出相手国：中国	オーストラリアは広大な国土に豊富な地下資源を有しており、特に鉄鉱石の産出量・輸出量は世界でもトップクラスです。かつては旧宗主国であるイギリスなどのヨーロッパ諸国との結びつきが強かったですが、現在は地理的に近いアジア諸国との貿易が中心となっています。特に、急速な経済成長を背景に鉄鋼生産を拡大させた中国が、オーストラリアにとって最大の輸出相手国となっています。
問6	答え 3 アジア系をはじめとする多様な民族の文化を尊重する多文化社会	オーストラリアはかつてヨーロッパ系以外の移民を制限する白豪主義をとっていましたが、1970年代以降にこれを撤廃しました。現在では、アジアからの移民も幅広く受け入れ、多様な民族の文化を互いに尊重し合う多文化社会の形成を進めています。
問7	答え 4 アジア太平洋経済協力（APEC）	オーストラリアは、貿易相手がイギリスからアジアへと変化する中で、地域協力の重要性を認識し、この組織の設立に主導的な役割を果たしました。環太平洋地域の広範な国・地域が参加しており、貿易や投資の自由化を進めるための対話の場となっています。ASEANは東南アジアの10カ国による組織であり、EUはヨーロッパの組織である点と区別が必要です。
問8	答え 2 かつては羊毛や小麦などの農産物を主にイギリスへ輸出していたが、現在は鉄鉱石や石炭などの天然資源を主に中国や日本などのアジア諸国へ輸出している。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年代頃まではイギリスを最大の貿易相手とし、羊毛や小麦といった農産物をを中心に輸出していました。しかし、その後のアジア諸国の経済発展に伴い、鉄鉱石や石炭といった天然資源の需要が高まったことで、現在の主な輸出相手は中国や日本、韓国などのアジア諸国へと大きく変化しました。この変化により、オーストラリアは「アジアの一員」としての外交・経済政策を重視するようになっています。
問9	答え 1 バイオ燃料	植物などの生物資源（バイオマス）から作られる燃料を指します。サトウキビの生産が盛んなブラジルや、トウモロコシの生産が多いアメリカなどで導入が進んでいます。石油などの化石燃料と異なり、原料となる植物が成長過程で二酸化炭素を吸収するため、燃焼しても大気中の二酸化炭素を実質的に増やさない「カーボンニュートラル」の考え方に合致するエネルギーとして注目されています。
問10	答え 4 スラム（ブラジルではファベーラ）	開発途上国では都市化が急速に進む一方で、流入する人口に対して住宅供給やインフラ整備が追いつかないことがあります。その結果、経済的に貧しい人々が集まり、居住環境の悪い地域である「スラム」が形成されます。ブラジルではこのスラムを「ファベーラ」と呼ぶのが特徴です。選択肢にある「セルバ」はアマゾン川流域の熱帯雨林、「パンバ」はアルゼンチンなどに広がる温帯草原を指します。
問11	答え 4 地理的に近いアジア諸国の経済発展に伴い、貿易の軸足がヨーロッパからアジアへと移り変わった。	オーストラリアはかつてイギリスの植民地であった歴史的背景から、1960年当時はイギリスをはじめとするヨーロッパ諸国との貿易が中心でした。しかし、イギリスが当時の欧州共同体（EC）に加盟したことで関係が変化したほか、地理的に近い日本や中国などのアジア諸国が急速な経済成長を遂げ、鉄鉱石や石炭などの資源需要が高まったため、輸出相手国がアジア中心へと大きくシフトしました。
問12	答え 2 面積が約769万km ² あるオーストラリアが輸入額の約6割を占めており、アフリカ大陸の南アフリカ共和国からも一定量を輸入している。	日本の鉄鉱石輸入において、最大のシェア（約6割）を占めるのは広大な国土を持つオーストラリアです。また、南アフリカ共和国はアフリカ大陸における主要な資源供給国として、鉄鉱石などの鉱物資源を日本へ輸出しています。